



**ボカブリア+リカムビス[®]による
1ヵ月に1回の治療を
受けられる方へ**





この冊子は、ボカブリア水懸筋注(カボテグラビル)と
リカムビス®水懸筋注(リルピビリン)による
HIV-1感染症治療を受ける方のためのものです。

この治療について、わからないことや不安なことがあれば、
主治医、薬剤師などの医療関係者にいつでもご相談ください。



目次

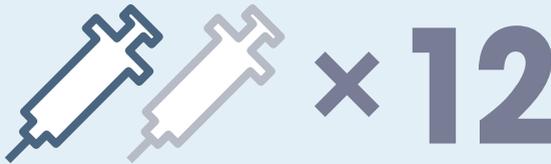
- p.5 毎日の服薬から1か月に1回の治療へ
- p.6 1か月に1回の治療
- p.7 治療を始める前に注意すること
- p.9 治療ステップ
- p.10 治療スケジュール
- p.11 ステップ1 錠剤の服用
- p.15 ステップ2 注射治療の開始
- p.16 注射治療後の注意点
- p.17 ステップ3 1か月に1回の注射治療の継続
- p.19 注射治療の継続における注意点
- p.22 注射治療の遅延・中止
- p.23 よくある質問

毎日の服薬から 1カ月に1回の治療へ

ボカブリア+リカムビス®の治療により、1年間の治療回数が12回になります。



毎日の服薬



1年に12回の治療

※ まず注射治療と同じ有効成分の2種類の錠剤（カボテグラビル、リルピビリン）をそれぞれ1錠を1日1回、1ヵ月間（少なくとも28日間）を目安に服用します。

1カ月に1回の治療

この治療では、毎日、錠剤を服用するかわりに、**1カ月に1回**、2種類の注射による治療を受けます。



どのような治療ですか？

2種類の抗HIV薬、カボテグラビルとリルピピリンを組み合わせた注射による治療です。

この治療は、2種類の注射をすることで、HIVのウイルス量を抑制する働きがあります。



どのように治療を始めるのですか？

まず注射治療と同じ有効成分の2種類の錠剤（カボテグラビル、リルピピリン）をそれぞれ1錠を1日1回、1か月間（少なくとも28日間）を目安に服用します。

お薬の有効成分による副作用の有無やこの治療があなたに合っていることを確認し、問題がなければ注射治療を始めます。

最後に錠剤を服用する日に、初回の注射治療を行います。

2回目以降の注射治療は、投与予定日の前後7日以内に行います。



どのように注射しますか？

通院する医療機関で、1カ月に1回、2種類の注射を臀部（おしり）の左右異なる側の筋肉または片側の臀部（おしり）の筋肉で2cm以上間隔をあけて、それぞれ1種類を注射します。

治療を始める前に注意すること

この治療を開始する前に、次のことを確認しておきましょう。

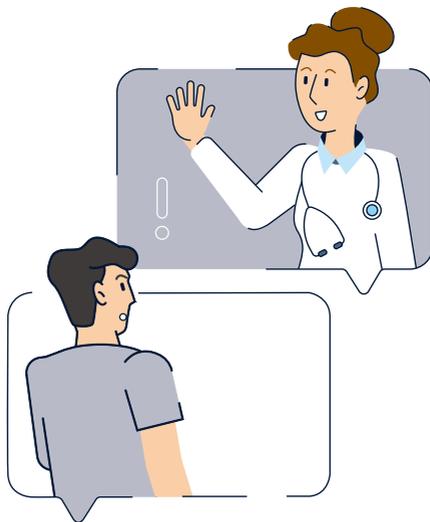


ボカブリア+リカムビス®による治療を受けてはいけない方(禁忌)

- この治療薬の成分(カボテグラビル、リルピピリンおよび添加物)に対して過敏症の既往歴のある方
- リファンピシン、リファブチン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトイン、デキサメタゾン(全身投与)(単回投与を除く)、セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品、プロトンポンプ阻害剤※を投与中の方

※ リルピピリン錠を服用中のみ禁忌です。

以上のいずれかに該当する方は、ボカブリア+リカムビス®による治療を受けることができないため、主治医などの医療関係者に必ず伝えるようにしてください。





ボカブリア+リカムビス®による 治療に注意が必要な方

- 妊婦または妊娠している可能性、妊娠を予定している方
- 授乳中の方
- B型・C型肝炎がある方、中等度から重度の肝機能障害がある方
- 以下のいずれかのお薬を服用されている方

【抗生物質】

クラリスロマイシン、エリスロマイシン

【鎮痛薬】

メサドン

【抗不整脈薬】

アミオダロン、ソタロール

【抗リウマチ薬】

メトトレキサート

【胃薬】

**ファモチジン※1、シメチジン※1、ニザチジン※1、ラニチジン※1、
制酸剤※2**

※1 リルピピリン錠を服用中のみ併用注意です。

※2 カボテグラビル錠およびリルピピリン錠を服用中のみ併用注意です。

以上のいずれかに該当する方は、主治医などの医療関係者に相談してください。



次のことに気をつけてください

この治療は通院頻度が、以前よりも高くなる可能性があります。ウイルス量を抑制したり、お薬に耐性を持つウイルスが増えるリスクを低くしたりするために、治療スケジュールを守ることが重要となります。

通院の頻度については、主治医に確認するようにしてください。

治療ステップ

1か月に1回の治療を始めるためには、3つのステップがあります。

1

錠剤の服用

1ヵ月目

2種類の錠剤を食事中または食直後に1日1回、1ヵ月間(少なくとも28日間)を目安に服用します

この錠剤には、この後使用する注射と同じ有効成分が含まれています。

ステップ1では、お薬の有効成分による副作用の有無やこの治療があなたに合っていることを確認します。

2

注射治療の開始

2ヵ月目

2ヵ月目に、2種類の注射をします

最後に錠剤を服用する日に、初回の注射治療を行います。

3

1か月に1回の注射治療の継続

3ヵ月目～(以降1か月に1回)

このステップから、1か月に1回の注射治療が始まります

1か月に1回医療機関に通院し、注射治療を続けます。

1か月に1回のボカブリア+リカムビス®使用説明動画

この治療の全体像を説明している動画です。
治療ステップや治療スケジュールの設定などをわかりやすく紹介しています。
あなたの治療への理解を深めるために、本冊子とあわせてご覧ください。



動画の再生は
こちら



治療スケジュール

こちらが、錠剤の服用を始めてから、最初の6か月間の治療スケジュールです。



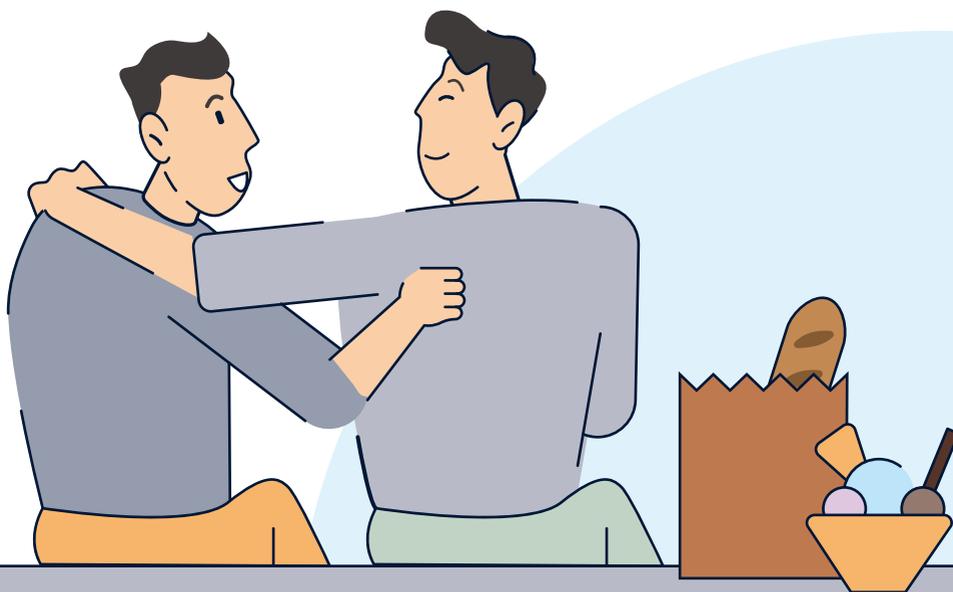
※1 2種類の錠剤を1日1回、1か月間(少なくとも28日間)を目安に服用します。

※2 2種類の注射による治療を受けます。2か月目はそれぞれ3mLを注射し、3か月目以降はそれぞれ2mLを注射します。



1>

錠剤の服用





次のことに気をつけてください

- 2種類の錠剤（カボテグラビル、リルピビリン）を1ヵ月間（少なくとも28日間）を目安に食事中または食直後に1日1回決まった時間帯と一緒に服用してください。



服用し忘れたときは、どうすればよいですか？

飲み忘れに気づいたら、12時間以内の場合は、食事とともにただちに服用するようにしてください。12時間を超えた場合は、飲み忘れた分は服用せずに、次の服用予定時間まで待ってから服用してください。

飲み忘れたからといって、決して2回分を一度に服用しないでください。



副作用について

注射治療を始める前に、1ヵ月間(少なくとも28日間)を目安に錠剤を服用して、お薬の有効成分による副作用の有無やこの治療があなたに合っていることを確認します。

副作用の発現には個人差があります。錠剤の服用中に何か体の異常を感じたり、いつもと違うと感じた場合は、すぐに主治医などの医療関係者に連絡してください。このお薬で起こる可能性がある主な副作用をこの冊子にまとめているので、治療を開始する前に、副作用について理解しておきましょう。

質問があれば、主治医などの医療関係者にご相談ください。



起こる可能性がある主な副作用 (1～10%未満の発現頻度)

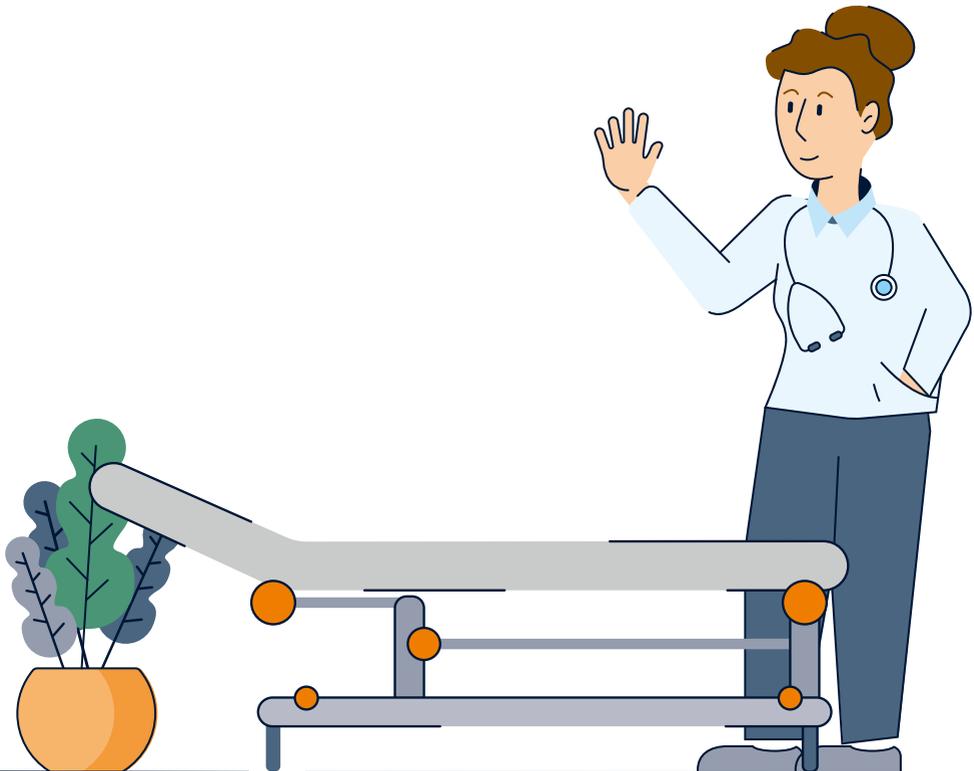
次の症状があらわれる場合があります。

- 頭痛、不安、異常な夢、不眠症、浮動性めまい、うつ病、傾眠
- 悪心、下痢、嘔吐、腹痛、鼓腸
- 発疹
- 筋肉痛
- 発熱、疲労、無力症、倦怠感
- 体重増加、トランスアミナーゼ上昇、リパーゼ増加



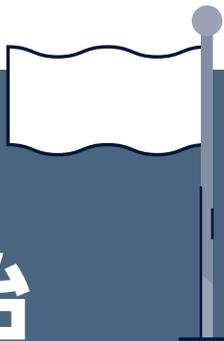
次のような症状があらわれた場合は、
主治医などの医療関係者に
すぐ連絡してください

- アレルギー反応の症状
(顔のむくみ、呼吸困難、発疹、高熱など)
- 感染症の症状
(発熱、頭痛、腹痛、呼吸困難など)



2

注射治療の開始



1ヵ月間(少なくとも28日間)の錠剤の服用の後で、主治医などの医療関係者とともにお薬の有効成分による副作用の有無やこの治療があなたに合っていることを確認し、問題がなければ注射治療を始めます。



次のことに気をつけてください

2ヵ月目

- 医療機関で注射治療を受けます。
- **2種類の注射**を臀部(おしり)の左右異なる側の筋肉または片側の臀部(おしり)の筋肉で2cm以上間隔をあけて、それぞれ1種類を注射します。

注射治療の通院ができない場合は、できるだけ早く通院している医療機関や主治医などの医療関係者に連絡してください。

注射治療後の注意点



知っておくこと

注射が終わったら、十分に経過観察を行います。

注射部位反応

注射したところが痛くなったり、かゆくなったりすることがあります。どのような症状が起こることがあるのかを知っておきましょう。

- 注射したところが、少し痛かったり、硬くなっているように感じることがあります。
- その注射したところが、腫れたり、赤くなったりすることもあります。

(10%以上の発現頻度)

- 疼痛
- 結節
- 硬結

(1～10%未満の発現頻度)

- 不快感
- 腫脹
- 紅斑
- そう痒感
- 内出血
- 熱感
- 血腫
- 知覚消失

そのほかの注射部位反応が起きたり、時間がたっても痛みが続くような場合は、必ず主治医などの医療関係者に相談してください。

注射部位反応への対処法

注射したところの違和感を和らげるために

- 体を動かしたり、ストレッチをするように心がけましょう。
- 長時間、座り続けないようにしましょう。
- 激しい運動は避けましょう。



3 >

1か月に1回の 注射治療の継続

初回の注射治療を終えた後は、**1か月に1回の注射治療**を継続します。



次のことに気をつけてください

1か月に1回の通院

- 必ず**1か月に1回の通院予約日**を守って医療機関へ通院し、注射治療を受けてください。
2回目以降の注射治療は、**投与予定日の前後7日以内**に行います。
- このステップから、
1か月に1回の注射治療を継続します。

注射治療の通院ができない場合は、
できるだけ早く通院している医療機関や
主治医などの医療関係者に連絡してください。



MEMO

注射治療の継続における注意点

1か月に1回の注射治療を始めたら、その治療を継続することが大切です。



通院予約日について

2回目以降の注射治療は、投与予定日の前後7日以内に行います。
1か月に1回、主治医と決めた日に医療機関へ通院してください。
通院予約日は主治医と相談の上決定します。



なぜ治療スケジュールを守る必要があるのですか？

治療スケジュールを守ることは、HIVのウイルス量を抑制するために必要です。
そのため、**治療スケジュールを守るようにしてください。**



通院の予約を変更しなければならないときは、どうしたらよいですか？

通院予約日を変更したい場合は、できるだけ早く主治医などの医療関係者に連絡してください。

投与予定日の前後7日以内に注射治療を行う必要があるため、主治医などの医療関係者に相談してください。



(例) 19日が注射治療の投与予定日
である場合

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

■ 注射治療の投与予定日(初回の注射治療日):19日

■ 注射治療の実施期間(投与予定日の前後7日間):12~26日



次のような変化があった場合は、 主治医などの医療関係者に必ず伝えてください

- 妊娠を希望している、あるいは授乳を予定している場合
※治療中に妊娠がわかった場合は、すぐに連絡してください
- B型・C型肝炎がある、またはB型・C型肝炎を発症した場合
- 新たに肝障害と診断された場合
- 以下のいずれかのお薬やサプリメントを服用し始めた場合

【抗てんかん薬】

カルバマゼピン、フェニトイン、ホスフェニトイン、
フェノバルビタール

【抗結核薬】

リファブチン、リファンピシン

【ステロイド】

デキサメタゾン

【抗生物質】

クラリスロマイシン、エリスロマイシン

【鎮痛薬】

メサドン

【抗不整脈薬】

アミオダロン、ソタロール

【抗リウマチ薬】

メトトレキサート

【ハーブサプリメント】

セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)含有食品

【胃薬】

オメプラゾール※1、ランソプラゾール※1、ラベプラゾール※1、
エソメプラゾール※1、ボノプラザン※1、アスピリン/ボノプラザン※1、
ファモチジン※1、シメチジン※1、ニザチジン※1、ラニチジン※1、
制酸剤※2

※1 リルピビリン錠を服用中の場合。

※2 カボテグラビル錠およびリルピビリン錠を服用中の場合。

**治療に関してわからないことや不安なことがあれば、
いつでも主治医などの医療関係者にご相談ください。**

注射治療の遅延・中止

治療を始めた後に、この治療があなたに合っているか自信が持てない場合は、ご自身で判断せずに、心配なことを主治医などの医療関係者に相談してください。



注射治療の遅延

投与予定日から7日を超えて通院の予約が遅れてしまう場合には、代替として錠剤を服用する必要があります。

もし、2ヵ月以上注射治療をできないことがわかったら、すぐにそのことを主治医などの医療関係者に連絡してください。そして、ほかの治療法について指示を受けてください。

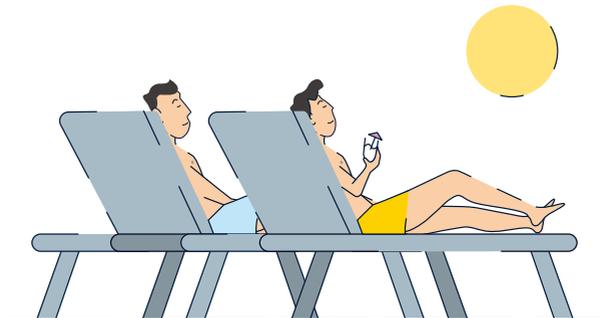


注射治療の中止

注射治療を中止したいときは、できるだけ早く主治医などの医療関係者に相談してください。

決してご自身の判断で、注射治療を中止しないでください。

お薬に耐性を持つウイルスが増えるリスクを低くするために、次の注射治療の投与予定日まで、ほかのHIV感染症治療を始める必要があります。



よくある質問

注射治療にはどのくらい時間がかかりますか？

通院する医療機関で異なります。

注射治療を受ける前に、どのくらい時間がかかるのかを主治医などの医療関係者に聞いておくといいでしょう。

通院予約日に通院することを忘れてしまったときは、どうしたらよいですか？

できるだけ早く主治医などの医療関係者に連絡してください。

投与予定日の前後7日以内に注射治療を行う必要があるため、主治医などの医療関係者と相談してください。

自分で注射をすることはできますか？

いいえ、できません。臀部（おしり）の左右異なる側の筋肉または片側の臀部（おしり）の筋肉で2cm以上間隔をあけて注射をする必要があるため、ご自身で注射をすることはできません。必ず主治医などの医療関係者に注射をしてもらう必要があります。

詳細は、主治医などの医療関係者にお尋ねください。

この治療は、どのくらい体の中にとどまりますか？

この治療では、お薬の有効成分が錠剤よりも体の中に長くとどまります*。

カボテグラビルとリルピビルンは、注射した後、時間が経過するにつれて体の中から減っていきます。体の中のお薬の濃度が低くなると、ウイルス量を抑制する効果が弱まってしまい、お薬に耐性を持つウイルスが増えるリスクが高まります。

そのため、治療効果を維持してウイルス量を抑制するためにも、1か月に1回の注射治療を継続する必要があります。

治療に関してわからないことや不安なことがあれば、主治医などの医療関係者にご相談ください。

* 12か月以上にわたって血中に残留する可能性があります。

この注射治療中に、ほかのお薬やサプリメントを飲んでもよいですか？

ほかのお薬やサプリメントの中には、この治療の効果を強めたり、反対に弱めてしまったり、副作用が出やすくなるものもあります。

ほかのお薬やサプリメントを服用する場合は、主治医などの医療関係者にご相談ください。

MEMO

医療機関の連絡先



HIV陽性者向けWebサイト 「ボカブリア+リカムビス®による 治療を受けている方へ」

ボカブリア+リカムビス®による治療についての
詳細な情報をまとめています。ボカブリア+リカ
ムビス®使用説明動画や治療スケジュール設定
ツールを活用できます。

<https://www.longacting.jp/>



通院アラーム 「LINE LiV Life (リヴライフ)」

ボカブリア+リカムビス®による治療を受けて
いる方が通院を忘れないようにするための通院
アラームを設定することができます。

※ LINE LiV Life (リヴライフ)には、専用の二次元コードを用いて、
友だち登録が必要です。詳細は、LINE通院アラーム紹介リー
フレットをご確認ください。



リカムビス® (リルビピリン持続性懸濁注射液) およびリカムビス™はヤンセンファーマ株式会社の登録商標であり、
ヴィーブヘルスケア株式会社が許可を受け使用しています。

そのほかの登録商標はヴィーブヘルスケア株式会社が所有しています。

©2020 ViiV Healthcare group of companies or its licensor.

ボカブリア水懸筋注

製造販売元

ヴィーブヘルスケア株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1

販売元

グラクソ・スミスクライン 株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1

プロモーション提携



塩野義製薬株式会社

大阪市中央区道修町3-1-8

リカムビス®水懸筋注



製造販売元

ヤンセンファーマ株式会社
東京都千代田区西神田3-5-2

販売元

グラクソ・スミスクライン 株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1

提携先

ヴィーブヘルスケア株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1

提携先プロモーション提携



塩野義製薬株式会社

大阪市中央区道修町3-1-8

